

会津美里町第2次観光振興計画（案）に関するパブリックコメントの結果について

意見提出期間：令和7年12月16日（火）から令和8年1月15日（木）

意見提出件数：4件

番号	ページ	意見等の概要	意見等に対する町の回答	修正内容
1	36	重点プログラム1の具体策「高田地域における重点観光スポットの構築」中に『天海大僧正』を位置付けないのは何故か。認知度が低いとはいえ10年計画なので、しっかりスポット化に取り組む施策内容を記して、顕彰事業や学校等での認知向上策を更に展開していくべきではと考えます。	これまでも、観光協会を中心に天海大僧正の顕彰事業に取り組んできましたので、その点を追記いたします。	e. 地域資源との連携に天海大僧正を追記します。
2	37	「新鶴地域」においては、「ふれあいの森公園等整備利活用基本構想」の中で云っている「新鶴型ツーリズムの創出（ヘルスツーリズムを含む）」が平成12年までの中期の目標期間の取り組みとして記しています。なぜに具体的な施策内容に入っていないのか。	新鶴型ツーリズムについても具体的な内容も固まっていないことと、計画の中で「ふれあいの森公園等整備利活用基本構想とも連携し、会津観光目的以外の誘客を図る。」としており、「新鶴型ツーリズムの創出（ヘルスツーリズムを含む）」も内包しているものですので、具体的な施策内容を明記する必要はないと考えます。	修正なし
3	38	重点プログラム2の「コーディネーターの育成」具体的な施策において、「観光施策の核となるプロデューサー的人材（専門スキル保持者）を確保、外部からの登用も検討」としているが、この課題解決は必須であ	プロデューサー的人材は「確保」としてしており、そのうえで外部登用も検討するとしてあります。 よって、検討ではなく内部および外部の両方からの人材の「確保」と明記してい	修正なし

		<p>る。１０年以上言われてきていて、内部人材育成は今までを顧みて困難であり、認識もしてきていることから検討などではなくしっかり確保すべきでないか。</p>	<p>ることから、修正の必要はないものと考えます。</p>	
4	43	<p>重点プログラム４の「広域連携による情報発信とプロモーション」具体的な施策の中に、随分古いお付き合いで１５，６年参加会員になっている「福島県城下町連絡協議会」の名前が見えません。なぜでしょうか。</p>	<p>前計画においても、福島県城下町連絡協議会は掲載しておりませんが、全国的に向羽黒山城跡の認知度が少しずつ上昇しておりますので、今後こういった協議会との連携も必要だと思われますので、追記いたします。</p>	<p>a. 情報発信の協働に福島県城下町連絡協議会を追記します。</p>